

令和4年度 公益財団法人羽島市地域振興公社の事業報告書

I 業務に関する事項

1 概況

当公社は指定管理者として、文化センター・中央公民館、老人福祉センター羽島温泉、歴史民俗資料館の管理運営し、受託事業として、羽島市老人クラブ連合会、羽島市美術展実行委員会、和太鼓ライブ実行委員会の各事務局を担っています。

令和4年度は、文化センター・歴史民俗資料館の指定管理者制度の第4期（令和元年度から令和5年度までの4年目）であり、羽島温泉は第5期（令和4年度から令和6年度までの初年度）であり、各施設はお客様・利用者の視点に立って、サービスの向上と更なる効率的な管理運営を図り、公社の目的である「市民サービスの向上促進、市民福祉の増進と文化の振興」を推進するため、取り組んでまいりました。

長引く新型コロナについて、令和4年度は、文化センターが年間を通しての、市の集団接種会場として活用されるとともに、3施設の利用も通年利用に戻りつつある状況です。一方、電気、ガス、重油等については、世界的エネルギー不足による急激な高騰となっており、この先も引き続き、非常に見通しがつきにくい状況にあります。

今後とも業務遂行に当たっては、公社スローガンの「笑顔・親切・誠実」「連携・工夫・発信」と法令順守を認識し、職員一丸となって事業の見直し、作業の効率化に努め、更なる経費削減と職場内改善に努めてまいります。

2 各施設に関する事項

(1) 文化センター及び中央公民館指定管理事業

文化センター及び中央公民館は、市の文化振興及び生涯学習の拠点となる中核施設として平成10年10月1日に開館し、平成30年10月に開館20周年を経て、平成31年4月1日より5年間の指定管理を受け、令和4年度末で4年が経過しました。

指定管理に関する業務は以下のとおりです。（指定管理者協定書より）

【文化センター及び中央公民館に関する業務】

- (ア) 文化センター条例第3条に規定する業務
- (イ) 使用許可等に関する業務(※ 文化センター、中央公民館共通事項)
- (ウ) 利用料金の収受に関する業務 (※)
- (エ) 施設及び設備の維持管理に関する業務(※)
- (オ) 指定事業及び自主事業の企画提案事業の企画・運営に関すること(※)
- (カ) その他、羽島市が必要と認める業務(※)
- (キ) 前各号に掲げるものの他、公社又は市が必要と認める業務(※)

令和4年度の文化センター及び中央公民館指定管理事業は、市からの新型コロナウイルス感染防止対策として次のような要請を受けて事業を展開してきました。

【前年度3月22日「まん防」解除以降】

- 利用制限撤廃 ・時短撤廃 閉館時刻通常通り ・利用人数制限撤廃（但し、人と人との間隔を前後左右確保との要請あり）
- その他感染対策 ・感染状況を踏まえ実施の可否判断 実施の場合は感染防止対策徹底（マスク着用、手指衛生、三密回避、こまめな換気、体調管理等） ・発熱等、体調がすぐれない方の参加自粛

【令和5年3月13日「マスク着用の見直し」以降】

- マスクの着用 ・来館者は個人の判断 ・文セ、公社職員及びスタッフは執務中着用 ・貸館事業では主催者判断 ・自主事業では出演者やプロモーターと協議
- 他の感染防止対策 ・当館コロナ対策チェックシート廃止 ・こまめな換気 ・体調管理（発熱等体調がすぐれない方の参加自粛）
- 手指消毒液と検温器は継続して当館内に設置 ・主催者の判断により非接触型検温器等貸出可

(2) 文化センター及び中央公民館 施設管理に関する業務<令和4年度>

前記要請の中、感染状況や世の中の対応の変化等に応じて羽島市と調整を行い利用者に協力を求めながら事業を行ってきました。具体的な取り組みは以下のとおりです。

1) ワクチン接種会場としての利用

市による長期施設利用の経緯としては、スタートが令和3年3月12日から11月28日まで、その後、令和4年8月31日まで延長、9月30日まで再延長、令和5年3月31日まで再々延長となり、丸2年間の利用が続きました。主に、101展示室、中央公民館（当館2階、3階部分）が会場として利用されました。

2) 貸館事業

令和4年度は、コロナ禍による市からの大きな制限がない中で貸館事業を進めてき

ました。主な施設の利用状況は次の通りです。少しずつ令和元年度の利用に近づき始めたものと思われます。

	令和4年度	令和3年度	令和元年度
○大小ホール	473件	241件	563件
○401大会議室	210件	89件	264件

3) 予約抽選会

施設利用の予約方法としてより公平性を高めるために「抽選会による予約方法」を導入して2年が経過しました。年間の抽選会への申込団体数は、4月0団体、5月1団体、6月2団体、7月4団体、8月5団体、9月1団体、10月4団体、11月9団体、12月7団体、1月3団体、2月8団体、3月3団体でした。

4) 貸館のインターネットによる仮予約方法の追加

令和3年度末より運用を開始した仮予約方法の一つで、仮予約方法に「インターネット」方法を加えるものです。前述のように、当館ではより公平性を高めるために「抽選会」による貸館の予約方法を取り入れています。抽選会後の仮予約の方法として「来館」と「電話」の他に「インターネット」を追加したものです。運用開始当初4団体ほどであった利用者（ID配付団体）は令和4年度末には20団体へと増加しました。

5) 館内ネット環境の活用

令和3年度内に利用者の利便性向上を目的として「大小ホール・401会議室への配信事業用ケーブル等敷設」と「楽屋通路・402特別会議室・メディアカーニバル・中央公民館2階3階会議室へのWi-Fi整備」を行いました。ネット環境の利用実績（年間）としては、大小ホールで5団体、401会議室・402特別会議室で15団体に動画配信やzoom会議等に活用いただきました。

6) セキュリティポリシーの順守

令和3年度8月以降、職員対象に施設の情報管理の現状や今後必要な対策等にかかわる研修を実施しながら、公社（各施設）としての現状を踏まえた情報管理に係るセキュリティポリシーを策定しました。今後順次検討を重ねより充実したものへと更新していくという見通しの中で令和4年度より運用を開始しました。そんな中、11月8日にはパソコンへの不正侵入事案が発覚しその対応に追われました。12月には緊急の情報セキュリティ委員会を開催し、職員のパソコンのクリーンインストール（初期化）、パソコン・USB・インターネット等の利用制限の強化、グループポリシーを導入しセキュリティの強化に取り組むことを確認し対策に動き出しました。1月にはセキュリティポリシー研修会を開催し、職員一人一人が不正侵入への危機感と認識を新たにすると同時に情報リテラシーを高める機会とすることができました。

7) パソコン及びネット環境のセキュリティ強化

上記不正侵入事案を受けてセキュリティを高めるための環境整備を行いました。年度内更新完了をめざして以下の作業に取り組みました。

- サーバー及びLAN内にGuestポート作成（Guestポート用APの設置）
- サーバー内に監視及びフィルタリング設定
- 各パソコンにAdministrator権限設定
- 各パソコンにフィルタリングソフト導入
- 事務用パソコンのグループポリシー稼働
- Guestポートパソコンの稼働

なお、管理運營業務の区分については、減免団体（羽島市文化センター条例施行規則第9条第1項及び第2項に規定する団体）に関する利用を公益目的事業、それ以外の団体に関する利用を収益事業としています

（3）文化センター企画事業に関する業務（自主企画事業）

1) 主催公演

14の事業を企画してスタートしました。withコロナという状況ではありましたが、4月の「文化センター合唱団定期演奏会」のみ収容人数の50%、残りの公演はすべて100%で開催しました。著名なアーティストや劇団等の公演は満席に近い状況で開催することができましたが、子ども向けや比較的年齢の高い方々が対象となる公演等については、まだまだコロナ感染リスクを懸念されるお客様も多く集客には大きな課題が残る結果となりました。

2) 市民講座

令和3年度に延期した「春を彩るハーバリウム講座」を年度当初の4月に実施し、5月以降はコロナ感染状況を見ながら「Enjoy! ヨガ講座」「笑顔輝く癒しのフラダンス講座」の2講座を実施しました。

3) ランチタイムコンサート

参加者が日頃の練習成果を発表する場（会場は当館メディアカーニバル）として開館時より継続して行っている事業です。1団体のみキャンセルで中止となりましたが16団体は予定通り開催することができ、多くの来場者に楽しんでいただきました。ネット環境整備も行いましたので、今後も参加団体にライブ配信や動画配信が可能であることを周知し事業効果の拡大を図っていきます。

4) 新・ホールでピアノ

この事業は、ホール舞台においてフルコンサートピアノ（スタインウェイ、ベーゼ

ンドルファー) を50分間体験するものです。令和3年度より減免廃止に伴い有料事業としました。年間12回計画(応募者0とキャンセルにより2回は中止)し合計36人に利用していただきました。

自主企画事業の実施状況の詳細は以下の表のとおりです。

4/24(日)	羽島市文化センター合唱団「定期演奏会」	50%で開催 来場者 445人
6/25(日)	吉本新喜劇&バラエティショーin 岐阜羽島	100%で開催<2回公演> 午前 1,051人 午後 1,162人
7/17(日)	ぎふ羽島吹奏楽団「定期演奏会」	100%で開催 来場者 679人
8/19(金)	夏休み子ども映画会 「ボス・ベイビー ファミリー・ミッション」	100%で開催<2回公演> 午前 402人 午後 344人
9/25(日)	はしま寄席「三遊亭好楽・桂文珍 東西会」	100%で開催 来場者 316人
10/1(土)	水谷千重子コンサート in 岐阜羽島	100%で開催 来場者 1,182人
10/9(日)	フレッシュアーティスト ファーストコンサート《小》	100%で開催 来場者 245人
10/15(土)	小さき花の音楽会「斎藤守也<レ・フレール>バリア フリー・ピアノコンサート with タニケン」《小》	100%で開催 来場者 85人
1/14(土)	市民期待事業・伝統文化事業 和洋楽器ユニット「刃」コンサート《小》	100%で開催 来場者 132人
1/26(木)	反田恭平&務川慧悟 2台ピアノオリサイタル	100%で開催 来場者 1,256人
2/11(土)	NHK 公開番組 ラジオ収録「民謡をたずねて」《小》	100%で開催 来場者抽選満席約 340人
2/19(日)	宝くじ公演「おしゃべり音楽会」	100%で開催 来場者 527人
3/21(火祝)	山内恵介コンサート	100%で開催 来場者 1,032人
3/25(土)	レ・フレール with オーケストラ・アンサンブル金沢 ス ペシャルコンサート	100%で開催 来場者 301人
11月 ~12月	劇団四季「こころの劇場」自主事業としての開催は中止 昨年に続いてリモート開催 ※羽島市教委と劇団四季が連携 動画配信により小6児童を中心に鑑賞	
市民講座	「春を彩るハーバリウム講座」 4/16,24,29 「Enjoy!ヨガ講座」 8人 5/12,19,26,6/2,9,16,23,30 「笑顔輝く癒しのフラダンス講座」 8/11,28,9/3,11,18,23,10/2,9,16,23,30(9/18分)	
年間	ランチタイムコンサート 4/23(土)箏曲クラブゆう(琴/アルパ) 5/28(土)N.J.Q(ジャズ/ボサノバ) 6/11(土)ルナソル(ベリーダンス) 7/2(土)花ぐるまの会(お話と紙芝居) 8/27(土)JAZZユニット66と大久保きよ子(ジャズ演奏) 9/17(土)ハウオリフラスタジオ(フラダンス) 9/24(土)ピアノデュオフレンズ(ピアノ) 10/8(土)南京玉すだれの会(大道芸) 10/22(土)HAON 羽音ジュニアアンサンブル(合唱/独唱) 11/12(土)マナフラサークル(ハワイアン) 11/19(土)サウンド OTO(サクソ/ソロ・デュエット) 12/10(土)op.1 Hashima(音楽劇) 12/17(土)ミュージックベルクラブ 鈴々(ベル演奏) 1/7(土)アンサンブルさくら(室内楽) 1/21(土)アンサンブル Reve(管弦楽/ピアノアンサンブル) 2/25(土)朗読を楽しむ会(朗読) 3/4(土)羽島レイハワイアンズ(ハワイアン)	来場者 実施 55人 実施 48人 実施 25人 実施 36人 実施 57人 実施 48人 実施 45人 実施 48人 実施 20人 実施 40人 <キャンセル中止> 実施 118人 実施 17人 実施 76人 実施 20人 実施 22人 実施 66人

年間	新・ホールでピアノ 4/23(土)0人、5/28(土)1人、6/19(日)3人、7/17(日)3人、8/20(日)1人(キャンセル)、 9/23(金祝)5人、10/30(日)1人、11/23(水祝)3人、12/10(土)5人、 1/28(土)5組6人、2/25(土)4組7人、3/27(日)2人
----	--

5) 所属団体

①羽島市文化センター合唱団 (団員25人)

開館時に発足した団体で、2年に1度の定期演奏会に向けて文化センターを拠点に毎週日曜日夜に練習しています。令和3年度に開催予定の定期演奏会は令和4年へ延期し、年度初めの4月にほぼ3年ぶりに開催することができました。楽しみにしていた多くのお客様に会場にいらしていただきことができ、団員も有意義なひと時を過ごすことができました。その後も年間を通じてほぼ計画通り練習を行うことができました。

②ぎふ羽島吹奏楽団 (団員40人)

平成26年より活動している団体で、毎週金曜日夜に練習しています。毎年開催される定期演奏会は好評で大変聴きごたえがあります。令和3年度の定期演奏会は中止を余儀なくされましたが、令和4年4月以降はほぼ計画通りに練習することができ7月には3年ぶりに定期演奏会を開催することができました。700人近くの来場者があり盛況のうちに終わることができました。

③劇場サポーター「めだか組」(登録23人)

開館時に発足した団体で、主に主催公演でのサポートを行う団体です。定期的にリーダー会・月例会を開催し活動しています。6月以降は収容人数100%で開催した各公演をメンバー一丸となってサポートすることができました。

6) 育成団体、育成事業

①羽島市文化センター合唱団 Jr. (団員10人)

令和元年に発足した合唱団で主に主催公演への参加・共演を活動の場とします。令和4年度は4期生を募集し10人での活動となりました。指導者を若手へと移行し指導者と演奏家の各2名の育成にも力を入れています。ほぼ計画通り練習することができ、2月に開催した宝くじ公演「おしゃべり音楽館」へ出演し日頃の成果を披露することができました。

②ジュニアサポーター (登録9人)

小学生1人、中学生8人の団体です。子どもたちの社会体験、社会貢献の場として位置づけ、将来の観劇者、職員、サポーターへと育成することをねらいとする事業です。毎月の月例会や自主公演事業のサポート活動を計画通り行うことができました。

③フレッシュアーティスト育成事業 (登録3人)

羽島市在住・出身の若手演奏家等を発掘し文化センターの施設を使用しての継続した練習を行い、文化センターを盛り上げ地域文化の向上に貢献する若者を育成することを目的とした事業で令和3年度にスタートしました。ピアノ演奏者2名、マリンバ演奏者1名が所属し4月から9月までに10～15回の練習を行い、10月にはファーストコンサートを開催しました。多くのお客様に来場いただきとても好評でした。

なお、自主企画事業の区分については、社会貢献的・伝承継承的・育成の公益的な事業（主に市が指定する「指定事業」）を公益目的事業、それ以外の公演等（公社が行う「自主企画」）を収益事業としています。

（4）羽島温泉指定管理事業

昭和53年3月に開館以来「温泉利用者の健康増進と心身の保養の場」として広く利用されています。

利用者数は102,760人（対前年度13,888人の増）で、その内訳は、有料利用者が95,538人、身体障がい者などの無料利用者が7,222人でした（累計利用者10,676,145人）。利用料金収入は16,045,000円（対前年度2,724,700円の増）でした。利用者、利用料金増加の要因としましては新型コロナウイルス感染拡大によります臨時休館が令和3年度32日、令和4年度は無かった為営業日数が増えたのとwith コロナで入館者が増加しました。

業務につきましては、受付及び利用料の徴収の他、老人健康相談（毎月第2水曜日）、貯水槽等（温泉タンク、給湯タンク）及び配管清掃（年3回）を実施するとともに、隔月の水質検査と毎日の浴槽内の残留塩素濃度測定を実施し殺菌、消毒の徹底を図り衛生管理に努めました。

また、毎月3回の休館日には、職員による浴場清掃及び施設の保守点検・環境整備に努めるとともに、羽島市内在住の方へ利用証交付手続きを実施しております。

次に主な取組み内容としましては

① 「利用者感謝日」等企画の実施

・「風呂の日（毎月26日）」回数券購入者に利用券を進呈し販売促進を図っております。

年間累計売上冊数は6,490冊（対前年度1289冊の増）、売上金額は9,488,000円（対前年度2,314,000円の増）市内利用者の回数券が約87.8%を占めました。

・9月に、市内65歳以上の高齢者へ長寿を祝して粗品（タオル）を進呈しました。

・平成25年度から取り組んでおります温泉施設の連携事業「西美濃湯めぐり倶楽部」につきましては、令和3年度新たに2施設参加され、10施設となりました。

イベントとしては令和4年9月から令和5年3月までスタンプラリーを実施しました。期間中の来館者数は580名程です。

・羽島温泉のパンフレットを羽島市役所、新幹線岐阜羽島駅、道の駅「柳津」「クレール平田」、不二羽島文化センター、市内のコミュニティセンターなどに配布するとともに、「羽島新報」等による記事・広告によるPRに努めました。

・「羽島市健幸ポイント事業」に協力しました。

② 健康に関する事業

・医師による老人健康相談を、毎月第2水曜日に開催しました。

・地震・火災等による避難訓練を10月と3月に年2回実施しました。

消防署の方によります講習会は3月に実施予定でしたが先方の都合により実施できませんでした。

・健康講座については令和4年度はすべて中止しました。

③ 羽島温泉の管理運営に関するアンケート調査」の実施

3月8日 383人に実施。回答者317人（回収率約82.7%）でした。

内訳は、「職員の対応」では、満足・やや満足との回答が97%ありました。従業員が親切で、対応がよく気持ちよく利用できるのご意見も頂いています。やや不満・不満の回答は3%でした。

「施設管理」については、満足・やや満足との回答が89.5%ありました。

清掃が行き届いているのご意見も頂いています。やや不満・不満の回答は10.4%でした。内容としては空調機の効きが悪い、浴室天井の塗装が剥がれているなどの意見が寄せられました。

なお、常時、意見箱を設置し要望・意見等の把握に努めています。

④ 地域とのかかわりなど

・双樹園交通安全教室に協力。

・11月から玄関前と中庭にイルミネーションを設置。

・毎月、北伊勢西美濃湯めぐり倶楽部10湯施設のパンフレットを相互に提供。

・地元の業者のおにぎり、ちらし寿司、助六などとおはぎ、草餅、どら焼き、大福などお菓子、たまご、ごぼう茶、の土産物などの物品販売しております。

売上金額は3,335,310円（対前年度399,190円の増）、原材料支出は2,503,876円（対前年度272,796円の増）でした。

これからも当市の貴重な資源・財産であります“温泉”を市民の皆様とともに「親しまれ・喜ばれる“羽島温泉”」をめざしながら健康増進に寄与できますよう努めてまいります。

公益目的事業としては、老人福祉センター羽島温泉の老人の健康増進を図るという設置目的に基づき、市内在住の65歳以上の老人及び身体障がい者に関する施設管理事業を公益目的事業、それ以外の利用者に関する施設管理事業を収益事業としました。

(5) 歴史民俗資料館指定管理事業

1) 令和4年度の利用状況

	令和4年度	令和3年度	令和元年度
入館者数	4,881人	4,080人	8,331人
入館料額	1,100,530円	916,990円	1,393,125円

新型コロナウイルス感染が続く中でも感染予防を徹底し、通常に開館し業務を行うとともに、企画展などの事業計画を予定通り開催することができました。

2) 令和4年度の事業報告（企画展・映画のつどい・資料の収蔵・その他）

○ 企画展1

「ミニシアター応援映画ポスター展」

4月2日（土）～6月19日（日） 入館者数：1,401人

新型コロナウイルスの脅威にさらされた令和2年4月、緊急事態宣言発出に伴い、様々な業種に営業の自粛が要請されました。映画館もその一つで、配給会社が目だった話題作の公開を延期したり、配信に切り替えたりという動きが続出し、経営が圧迫されました。スクリーンが一つか二つしかない「ミニシアター」と呼ばれる映画館がその代表です。

企画展では、ミニシアターの先駆けとなり、惜しまれつつ閉館した東京の岩波ホールや柳ヶ瀬 CINEX を拠点に岐阜にゆかりのある映画、新鋭監督が手がける映画を紹介している CINEX 映画塾、及び全国のミニシアターで上映された映画をポスターやチラシで紹介し、苦境下でも健闘を続けているミニシアターを応援する内容としました。

○ 企画展2

「手塚治虫コレクション展」～ マンガ本 1,000 冊&映画ポスター大集合 ～

7月2日（土）～9月19日（祝・月） 入館者数：1,129人

手塚治虫原作の「鉄腕アトム」は、昭和27年～43年まで「少年（光文社）」に連載されました。不思議な力をもったロボット（アトム）が縦横無尽に飛び回り活躍した姿が深く記憶に刻まれています。

また、彼の代表作として挙げられる「火の鳥」、「ジャングル大帝」、「ブラック・ジ

ヤック」などの作品は、現代の我々に生きることの意義や生命の尊厳などを問い続けるストーリーになっています。作品を通して語り続けてきた幅広い発信力や熱意、奥深さこそが、没後30年以上経過した今なお多くの人に支持されている所以とも言えます。展示したマンガ本1,000冊や16本の映画ポスターを通してその一端を感じることができた企画展となりました。

○ 企画展3

「木曾・長良 渡しから長大橋へ」展 ～ 歴史を創った交通文化財・渡しと街道 ～
10月1日（土）～12月18日（日） 入館者数： 870人

明治14年（1881）の統計では、県内には172カ所の渡しがあった記録が残されています。勤めや学校に通ったり、買い物に出かけたりすることに利用され、同時に物資の輸送手段としても貴重な交通手段でした。しかし、長大橋の建設や自動車の発達による時代の移り変わりとともに、大半の渡しはその役割を終えていきました。

木曾・長良川の大河にはさまれた羽島の地は、重要な交通や荷物の運搬手段として数多くの渡しが欠かせませんでした。しかし今日では、渡しを利用された体験のある世代の皆さんも少なくなってきました。この状況の中で、かつて2大河で運航されていた「渡し」にスポットを当てて思いをはせるとともに、今では遺産として忘れ去られようとしている交通文化財について歴史認識を深める機会となる企画展となりました。

○ 企画展4

「昔のくらしと道具展」 ～教科書でたどる明治から昭和の時代～

1月7日（土）～3月19日（日） 入館者数：1,239人

明治維新以後、欧米諸国に対抗するためには教育の普及・向上が大きな課題の1つでした。そのため教育改革の礎として1872年（明治5年）、「学制」が発令されました。近代的な国民教育を目指すものでした。その流れが時代背景とともにいくつもの変遷を経て、現代の学校教育につながってきました。その中でも、教えるための教材・題材として『教科書』は大きな役割を果たしました。

この企画展では、明治当初から昭和の大戦後まで使用された教科書を展示しました。教科書はすべて地元の皆さんからの寄贈品であり、当資料館の収蔵品です。時代に併せどのような教育が教科書を利用して実施されてきたのか、振り返る機会にしました。また市内の小学校の懐かしい校舎の写真や歴史、羽島市の歩みなども分かりやすく掲示しました。

○ 映画のつどい

予定通り、毎月第2土曜日に12本の映画を上映しました。入場者は合計875人

で、令和3年度の実施にあたり配慮していた上限30人の制限を撤廃し、換気などに十分配慮して行いました。

また、11月19日・20日に開催した「文化庁優秀映画推進事業・映画観賞会」には、4本の上映作品に合計73人の入場がありました。

○ 歴史民俗資料・映画関係資料の受け入れや収蔵

年間を通して資料の収集・収蔵の業務を行っています。最近では民俗資料や映画資料の申し出が非常に多くなり、選別して受け入れている状況です。

特に令和4年度は、旧本郷村・花村家の所蔵品、また映画マニアの7人の皆さんから膨大な数のパンフレット類の寄贈を受けました。これらの寄贈品については、令和5年度の企画展で展示します。

特記事項として、映画監督の神山征二郎さん（岐阜市出身）より、所蔵品の寄贈の申し出をいただき長野県上田市の事務所を訪問し、現在その準備を進めています。

また、日頃より資料の収蔵手続きや収蔵庫の管理・整頓を行っています。

○ その他の事業

・マイコレクション展

生涯学習の成果の一環として市民の皆様の作品をロビーで展示しています。令和4年度は、「手描きPOP広告展」、「夏の畑、野菜語録。写真展」、「はしま円空・木彫り展」、「岐阜イラストレーター展」、「糸かけ展」、「絵画展」、「パッチワーク展」の7展示を開催しました。

また、令和5年度からは広く周知を図るためHPなどでの募集を行い、9人（団体）からの応募があり、ワークショップなども開催し内容の充実を図っていきます。

・古文書学習会

新型コロナウイルス感染防止のため、2年間開催を休止していましたが、公募による11人の参加により、年間11回の開催することができました。

・夏休み親子歴史教室

夏休み中の8月2日（火）に、「今と昔 木曾川の歴史（渡し）を知り、流れを体感しよう」のテーマで実施しました。晴天に恵まれ、廃止予定も計画されている「西中野渡船」も体験することができました。

・小学3年生体験学習

例年企画展「昔のくらしの道具展」に併せて開催している体験学習も新型コロナウイルス感染防止のため2年間休止していましたが、市内5つの小学校の参加で体験内容を充実して行うことができました。

・名古屋鉄道との連携イベント

特別企画として、名鉄羽島線開通40周年に併せて、名鉄と連携し「記念系統板」抽選箱の設置を行ったり、「テツドウモケイ運転会」を開催したり大変好評でした。

年間を通して歴史民俗、映画関連の資料の整理・収蔵と展示を行い、歴史的財産として未来に伝えていく役割を担っていることから、歴史民俗資料館事業は公益目的事業としました。

(6) 受託事業

令和2年度より、羽島市老人クラブ連合会より活動運營業務委託を受け、事務局として会計事務業務全般、予算・決算、執行部会及び理事会等の運営が円滑に進められるよう対応しています。

老人クラブ連合会の、活動状況の詳細は、以下の表のとおりです。

月	日	事業内容	場所
4	11	市老連令和3年度会計監査	市老人福祉センター
	22	第1回市老連盛年部会（出席者数：8名）	市老人福祉センター
	28	<春季>フラワーコンクール審査（41カ所）	市内一円
5	18	市老連軽スポーツ大会	FUKUJYU スポーツパーク
6	9	羽島市老人クラブ連合会 令和4年度総会（参加者数：250名）	不二羽島文化センター
7	6	岐阜地区ブロック別リーダー研修会（参加者数：15名）	山県市花咲ホール
	8	市老連女性部 友愛訪問（担当：正木町）	やすらぎ苑
	15	会員旅行（一泊二日 15-16、21-22、22-23、参加者数：225名）	兵庫県
8	8	第1回市老連教養部会（出席者数：12名）	市老人福祉センター
	22	市町村女性リーダー研修会	岐阜県福祉農業会館
9	5	<夏季>フラワーコンクール審査（39カ所）	市内一円
	9	県老連主催体力測定（参加者数：80名）	羽島市民会館
	10	市老連女性部 友愛訪問（担当：小熊町）	寿光苑
10	5	飛水クラブぎふランド・ゴルフ大会（参加者数：10名）	関市中池公園多目的広場
	7	羽島市老人福祉大会・芸能大会（入場者数：444名）	不二羽島文化センター
	13	岐阜地区軽スポーツ大会（参加者数：45名）	各務原市総合運動公園
	20	羽島市・輪之内町親善軽スポーツ大会（参加者数：74名）	輪之内町スタジアム
	28	飛水クラブ大会・芸能大会（参加者数：27名）	関市文化会館
11	4	第2回市老連教養部会（出席者数：12名）	市老人福祉センター
	8	全国老人クラブ大会（出席者数：1名）	東京都

	9	市老連女性部 友愛訪問 (担当: 足近町)	光輝苑
	10	第2回市老連盛年部会 (出席者数: 8名)	市老人福祉センター
	14	スマホ教室 (参加者数: 12名)	市老人福祉センター
	中止	市老連余技作品展	不二羽島文化センター
12	8	市町村女性リーダー研修会	岐阜県福祉農業会館
1	27	新室内軽スポーツ大会 (参加者数: 84名)	羽島市民会館
2	15	市老連室内競技大会 (輪投げ) (参加者数: 159名)	羽島市民会館
	20	市町村老人クラブ連合会 会長・事務担当者等会議	岐阜県福祉農業会館
	20	市老連女性部 友愛訪問 (担当: 桑原町)	美輝苑
年間		市老連 理事会 (毎月1回 月初)	市老人福祉センター
年間		市老連 執行部会 (毎月1回 月末)	市老人福祉センター
年間		市老連女性部 健康体操	各コミュニティセンター
年間		地域見守り活動 (学童)	市内一円
年間		市老連 環境美化事業 (5月・7月・9月・11月 年4回)	市内一円
年間		交通安全教室	各地区集会所他
年間		市老連女性部 おたっしや教室 (協力事業)	各コミュニティセンター
年間		市老連盛年部 美濃菊づくり (協力事業)	各コミュニティセンター

令和3年度からは受託事業として、市から羽島市美術展（一般の部）と、和太鼓 Live 実行委員会事務局事務の委託を受けています。

市美展につきましては、12月3日から17日まで文化センター101展示室において、日本画、洋画、書、写真、彫刻・工芸、デザイン各部門の展示を予定し準備をしておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大により、8月上旬、市より当展示室をワクチン接種会場として使用したいとの申し入れがありました。

役員、事務局で代替案も含め検討しましたが、中止との結論に達しました。

市美展関係者、特に近隣高等学校へは、中止に至った経緯を直接説明しその理解を得ました。

「羽島太鼓 Live2023 雲外蒼天～雲の上はいつも晴れ～」は、令和5年3月5日に不二羽島文化センター みのぎくホールにおいて4年ぶり盛大に開催することができました。

アンケートでは約8割の方が満足して、和太鼓の魅力ある音を十二分に楽しんでいただけました。

・入場者数 354名

当事業は市民への芸術や文化を身近なものとするものですが、受託事業は収益事業とします。

(7) 一般管理費事業（公社事務局）

事務局は、当公社運営の全般的管理を行うとともに、理事会及び評議員会の開催、基金等運用収入の確保等により事業の円滑実施に努め、その他主な業務内容は以下のとおりです。

① 事業関係

- ・ 市長への要望書提出
- ・ 公社経営会議（月 1 回開催）
- ・ 四半期ごとの指定管理料申請
- ・ 事業報告書及び経営状況報告書提出（県・市）
- ・ 職員採用関係
- ・ セキュリティポリシーに関する研修会（全職員）
- ・ 各館において会計事務担当者の育成・指導

② 職員福利厚生関係（働きがいのある職場環境づくり）

- ・ ハラスメントの防止の周知
- ・ 36協定の遵守・指導
- ・ 時間単位年休制度の周知（年 5 日まで）
- ・ 生活習慣予防検診の周知
- ・ 夏季休暇、年次休暇取得の推奨
- ・ 福利厚生費の支給案内
- ・ ワクチン接種の特別休暇措置
- ・ 年 10 日以上の子休保有者の年休 5 日の取得